

2月 月間指導計画 0歳児



保育目標		室内で過ごすことが多くなるが、天候や体調に合わせて散歩に出かけ、元氣よく過ごす。何度も繰り返す遊びを心ゆくまで楽しむ。			
子どもの姿		わらべうたやタッチング遊び、抱っこなど、保育士との触れ合いによって安定して過ごしている。			
年間区別		ねらい	環境・構成	予想される子どもの活動	配慮事項
養護	生命	冬の感染症を予防する。	保育士が感染源にならないよう、手洗いうがいを心がけ、継続する。	鼻汁や顔色が良くないことが見られる。嘔吐・下痢の症状が出ている。	嘔吐物の処理方法や、適度に換気を行うなど、改めて保育士間で確認をしておく。
	情緒	安心できる保育士と抱っこなど触れ合って安定して過ごす。	特に病後に触れ合いを求めるが増えるので、ひとりひとりに寄り添って抱っこなど対応する。	特定の保育士の姿が見えなくなると涙することもある。	午睡時や夕方など、疲れが出てくる子もいるので、特定の保育士が関わられるようにする。
教育	健康	天候や体調に合わせて散歩に出かけ、元氣よく過ごす。	登園時に体調について保護者の方に必ず確認し、無理のない活動ができるようにする。	靴箱に行くとき自分の靴を嬉しそうに持つ子どももいる。	抱っこでの外気浴や、カートに乗って散歩など、寒い季節でも元氣よく過ごせるようにする。
	人間関係	保育士と簡単なやり取りを楽しむ。	やり取り遊びが楽しめるよう、子どもたちと積極的に関わる。	「ちょうだい」の言葉掛けに、手に持っているものを保育士に手渡している。	一つ一つのしぐさや行為に、保育士が丁寧に応じることで、周りの人への関心を育てるようにする。
	環境	何度も繰り返す遊びを心ゆくまで楽しむ。	ポットン落としやボールの出し入れなどの玩具を用意しておく。	玩具の出し入れを繰り返して楽しんでいる。	家庭でも繰り返して遊ぶ楽しさに集中ができるよう、見守る大切さを保護者の方に伝えていく。
	言語	語尾をオウム返ししたり、言葉にすることを楽しむ。	オウム返しの喃語を言葉にして、気持ちに応える。	「まい(おしまい)」「ないない(片付け)」など、大人の真似をして喃語で言葉にしている。	言葉に出来たことを十分に褒めて、もっとやってみようと思わせるようにする。
	表現	「鬼のパンツ」の踊りを楽しむ。	保育士が楽しく踊ることで、楽しい雰囲気をつくる。	保育士の真似をして、体を揺らしたり、自分なりに表現しようとする。	まだ歩行が確立していない子は、抱っこで保育士と音楽を楽しむようにする。
食育		保育士や友だちと食事の時間を楽しむ。	進級に向けて一人でスプーンを使う中で、出来たことを褒め、楽しく食事がとれるようにする。	出来たことを喜び、保育士や友だちと目が合うと微笑んでいる。	気分などでスプーンを使わなかったり、食べさせてもらいたい時もあるので、必要に応じて介助スプーンを使用する。
健康・安全		冬の感染症が発症しやすい時期なので、保育士が感染源にならないよう、手洗いうがいを徹底する。			
保護者支援		何度も繰り返す遊びを保育園で行っていることを知らせ、家庭でも遊びに集中できるよう、遊びを見守る大切さを伝えていく。			